



Nihon Clinic
日本クリニック
PRESENTS

健康ニュースレター

MONTHLY NEWS LETTER for HEALTH



今月のテーマはこちら

医療通訳について

2018



文責: Julia Matsumoto, RN

病院では言葉がきちんと理解できないのは不安



海外生活において大きな心配事と言えば、病気や怪我をした時ではないでしょうか。体調が悪い中、病院へ行き手続きを済ませることができても、実際にドクターや看護師に症状を説明し、さらに検査内容、結果、治療の内容を英語で説明を受けることを考えるとあまりにもハードルが高く、受診を我慢してしまう患者さんは少なくありません。そんな悩みにお答えするのが医療通訳サービスです。

クリントン政権時代(1993-2001)、大統領執行命令により、アメリカの病院では様々な改革が行われました。代表的な例は個人情報保護 (HIPPA) の強化とインフォームドコンセント (Informed Consent) の徹底化ですが、新たに医療通訳サービスの義務が加わりました。

現在、国や州の補助金を受けている医療機関は英語を母国語としない患者さんに医療通訳サービ

スを無料で提供することが法的に義務付けられています。この医療通訳サービスを怠ると、国や州から補助金が貰えなくなることにより、医療通訳というシステムが一気に促進しました。

現在、全米の総合病院で医療通訳サービス (language service) を依頼すると、医師や技師、看護師の説明の時、タブレットもしくは院内携帯が渡され、希望した言語でやり取りすることが可能になりました。医療通訳のおかげで誤解を極力避け、第三者による感情や偏見のない通訳を聞くことで、患者さんがより良い判断ができるというメリットもあります。また、上記にありますように通訳内容や個人情報に徹底して守られているので、患者さんは安心して利用することができます。

さて、気になる医療通訳のクオリティですが、全体的に満足度は高いそうです。通訳サービスは病院と提携している会社を通して提供されます。その提携会社のガイドラインに沿った、言語能力試験に合格したスタッフが常にスタンバイしています。スタッフの中には、日本で看護師、教師、医療従事者だった純粋な日本人もいれば、日本語を少し勉強したという程度のアメリカ人スタッフであったりと様々だそうです。理解できない通訳者に当たったら、「わかりません」と伝えて、通訳者を代えてもらいましょう。

ちなみに総合病院は 24 時間、医療通訳を提供していますが、提携機関 (Urgent Care、薬局、専門医オフィス) によっては提供している所に限りがあります。予約時に事前リクエストした患者さんのみに提供されるオフィスもありますのでご注意ください。また、医療通訳サービスはあくまでも医師、技師、看護師とのコミュニケーションに優先されるもので、カフェテリアや売店利用などの一般的な通訳サービスではありません。

以上を参考に、病院へ行かなければならない際、言葉の問題で不安でしたら、ぜひこの医療通訳サービスをお試し下さい。



Nihon Clinic
日本クリニック

CHICAGO SAN DIEGO

2010 S. Arlington Heights Rd.
Suite 101 Arlington Heights, IL 60005

予約 847.952.8910

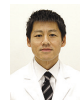
小児科 847.640.5437

内科 847.758.8080

カイロ科 847.956.3250

✉ chicago@nihonclinic.com

- 一般外来診療・内科・小児科・青年科・整形外科・カイロ科
- 人間ドック (ほぼ全検査項目を当院内で受診できます)
- 脳ドック (頭部 MRI、頭部 MRA、頸動脈エコー)
- 各種検査、手術、入院の手配 ● 胃内視鏡検査
- 検診・予防接種 (乳幼児・小中高大学 / 日米用報告書作成)
- マッサージ、エステ ● カウンセリング



四方, M.D.
内科



松本, M.D., Ph.D.
家庭医学科/
小児科・内科



川又, D.C.
カイロプラクティック科



黄, M.D.
整形外科



栗原, LCSW
心理カウンセリング



高崎, L.M.T.
マッサージ

www.nihonclinic.com